

# 晩霜を受けた後の茶の整枝処理効果

平成16年4月25日の晩霜により、新芽長2.7cm、平均開葉数1.5枚の成木園の一番茶で被害を受けました。

そこで、翌26日に整枝した区とそのまま放置した区を設定し、茶葉を収穫して煎茶に加工しました。

結果は、整枝しない場合が茶葉の収量が多く、煎茶に加工しても整枝した場合よりも品質がよく、今回の被害では、被害後の整枝はしない方が良かったことがわかりました。



晩霜直後の放置区



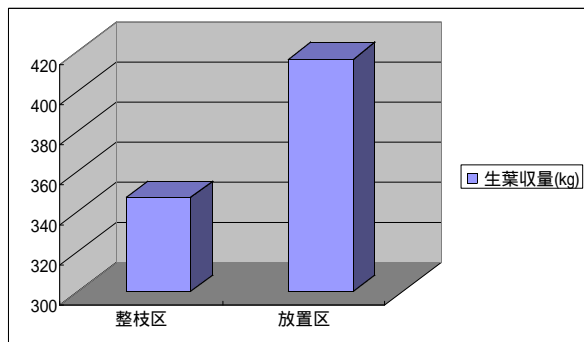
晩霜直後の整枝区



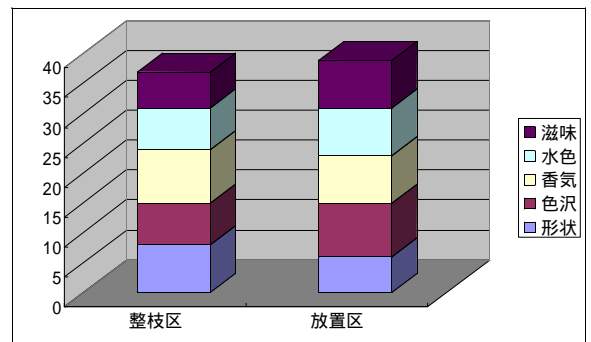
収穫直前の放置区



収穫直前の整枝区



晩霜被害後の収量



煎茶の品質